

『子どもにツケを残さない!』『環境未来都市の実現!』
所沢市議会議員 谷口まさのり発行

Facebook で細かく情報
発信しております!

谷口まさのり 所沢市政レポート

『2016年3月議会報告編』/5月29日(日) 谷口ミーティング案内編

連絡先: 〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話: 04-2941-5111 / FAX: 04-2941-5112

・メール: tani.eco@dream.ocn.ne.jp

・Twitterも頑張ってます!! 『谷口まさのり』で検索下さい!



子どもにツケを
残さない!!



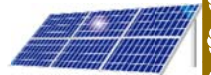
谷口 まさのり

- ◆税金のムダ遣いをしない! 為、『太陽光発電設置費』の精査を強く、強く、求める!
- ◆保育園給食の民間委託にあたっては、『食物アレルギー』対策に万全を期すこと!
- ◆まだ終わっていない? アスベスト問題・・・(民間建築物解体時のアスベスト対策)

一般質問(3/16)の詳細は所沢市議会HPより中継録画をご覧ください。

1) 予算特別委員会における、谷口まさのり からの意見表明(抜粋、要旨)

私は市のH28年度予算案を審議する予算特別委員会に今回も委員(12名で構成)として参加し、一般会計予算(当初 989.5 億円)に対し以下の意見を述べました。



①『西部クリーンセンター(ゴミ焼却等の施設)太陽光発電蓄電池設備設置工事:2, 543万5千円』の件、太陽光パネルの架台が300万円、蓄電池が450万円、そして、15kWの太陽光パネルを含む工事費が1, 800万円との答弁であった。平成23年度の松原学園の10kWの太陽光発電設置は、1kW当たり約95万円(架台付)であった。また一般家庭用の4kWの小規模の太陽光発電でさえも、工事費を入れて1kW当たり50万円を切るレベルまで下がっている。しかし答弁では、15kWの太陽光パネルを含む工事が1, 800万円なので、1kW当りに直すと、何と120万円という驚くような非常に高い金額になってしまっている。更に太陽光パネル設置に本来必要な架台を入れた場合の1kW当たりの金額は更に高く140万円になっている。よって、提案事業者の金額をそのまま受け入れるのではなく、最近の実績(松原学園、新所沢公民館)を確認、また最新の市場価格も確認した上で、金額の精査を強く、強く求める!(*尚、金額内訳は概算の為、合計は合わず)

②『保育園給食調理業務委託料:1, 938万2千円』の件、今回は小手指・新所沢保育園の2園の給食の民間委託であるが、これについては『食物アレルギー』で問題が起こることがないように、今まで以上、確実な現場管理運営に努めていただくことを求める。



③『所沢市民文化センター(ミュージアム)改修事業:2, 916万円』の件、今回は大規模改修に向けた調査委託費で、今後、現時点で約53億円という非常に大きなお金をかけて改修工事を予定、そこで、『コンストラクション・マネジメント』という手法を紹介したい。これは「設計者」や「工事業者」といった従来の利害関係者がプロジェクトを管理するのではなく、第三者性を持つ専門事業者がその役割を担う。つまり、工事プロジェクトの当初予算の超過や工期遅延を防止する為の仕組みで、管理を行うコンストラクション・マネージャーが、発注者の所沢市、設計者と一体となってプロジェクト管理する手法である。この手法では当初予算を超過しないよう、仕様の変更も辞さずということも可能になると考える。この手法についても情報収集をしながら進めていただきたい。またミュージアムは平成5年当時180億円もの莫大な費用で建設され、類似施設よりも光熱水費、特に空調経費が多額になっていると推測(裏面へ)

される。よって、将来維持管理をしていく上で、大幅な光熱水費といったエネルギーコストの削減が見込めるよう、省エネ・省マネー改修を念頭に進めることを求める。



* 上述について、特に①、③は今後の事業費削減という内容ですので、注視し、行動していきます！

2) まだ終わっていない？アスベスト問題(民間建築物の解体時)：一般質問(要旨)



←谷口 2月4日のNHKクローズアップ現代で、民間建築物解体実態が報道され、私は性善説の対策は限界があると感じた。そこで、①建築物に存在するアスベストは健康リスク等に応じてどう区分しているのか？②一番リスクが高いレベルの解体工事の件数推移は？③平成20年の調査(延べ床500㎡以上)で当時対象ではなかった建築物(500㎡未満)の中には、吹き付け等危険な状態でアスベストが存在していることもあり得る。よって、広報ところざわやその他で所有者に確認対応を呼びかけては？④アスベストを含む建築物(より健康リスクが高い)の解体中、さいたま市のように市が独自に現場敷地境界空気中のアスベストを測定する『行政測定』を所沢市においても抜打的に実施しては？また上述番組では解体業者側の事前調査で『アスベストは含んでいない』とされても、アスベストを見逃したケースがあるとのこと。よって解体中にアスベスト含有の可能性が残る建材をサンプルとして入手し調査を実施しては？これにより、性善説に頼っている隙間を少しでも埋められると考える。

担当部門部長 ①アスベストは飛散性の程度で、吹き付け材等、著しく飛散性が高いのがレベル『1』、断熱材、保温材等、飛散性が高いのがレベル『2』、スレート材(屋根材)等、飛散性が比較的低いのがレベル『3』に区分される。②解体工事届出はレベル1がH25年度8件、H26年度10件、H27年度6件(2月末)である。(レベル2、3合計でH25年度72件、H26年度73、H27年度62*)③市としては建築物解体や改修工事の際に大気汚染防止法等に基づいて個別に対応していきたい。④現状では敷地境界等での『行政測定』実施は考えていない。[*]内レベル3が9割以上、尚、事前調査でレベル1・2・3に該当しないとされる解体建築物はここ3年度は400~540件程度



←谷口 予防原則により、後追い行政にならない為にも現状よりも踏み込んだ対応をすべき。

3) クールジャパン構想で図書館、博物館等は民間負担でとの答弁を引き出す！



←谷口 私は図書館、美術館、博物館はKADOKAWA(かどかわ)側で費用を負担し、建設、整備すると認識しているがいかがか？また上述に製造センター、物流センターも含む建設費について、KADOKAWA側が資金を調達する際、所沢市が債務保証をするということは無いという理解で良いか？

経営企画部長 図書館、美術館、博物館を市が建設、運営や債務保証は考えていない。

**本構想で、所沢市が建設運営するのでは？と一部で懸念されておりましたが、今回の答弁により、明確に否定でき、クリアになりました。(上述議案質疑にて)

5 / 29 (日) 谷口まさのり所沢タウンミーティング



『所沢市でこのような取組をしたら良いのでは？』というアイデア等をお聞かせいただく場としたいと思います。ミーティング後は別会場、会費制で交流会も予定し、引き続き『東北復興応援』として被災県の食品も揃えて開催します。(熊本県も検討中)

◆5/29(日)15:20~16:45(ミーティングは無料)◆狭山ヶ丘コミュニティセンター2F(18席)

◆谷口まさのり経歴・昭和40年北海道生まれ、埼玉大学工学部 環境化学工学科卒業・環境や省エネ企業に15年間在籍・1997地球温暖化防止 京都会議に参加・2011年4月所沢市議選に初当選、現在2期目・趣味等：スポーツ(西武ライオンズファンクラブ会員)、カブ、カブトムシ採り、大のビール党、日課はタカのエサやり・環境カウンセラー(環境省資格)／社会保険労務士(年金と雇用の関連資格)／認知症サポーター★駅では原則、始発前からポストを配布しており、『始発の谷口』『始発男』と言われております。